

総務省「ユビキタス特区」事業の受託概要

2009年度「ICT 経済・地域活性化基盤確立事業(「ユビキタス特区事業)」

【プロジェクト名】	既存の2次元映像を3次元映像化できるパラメーターをインターネット上で配信する事業の実証 ～システム開発とコンテンツの二次利用ルールの 確立によるビジネスモデルの実現～
【実施場所】	千葉県柏市・沖縄県名護市
【実施期間】	2009年10月～2010年3月
【組織名】	株式会社マーキュリーシステム
【住所】	千葉県柏市宿連寺392番地
【連絡先】	電話番号：04-7131-7523 担当：江良一成（イラ 加 判）
【契約額】	99,976,800円

本事業の骨子

【日本国・総務省政策方針】

医療・健康、教育・人材育成、産業・地域の活性化、デジタル基盤の整備促進等の分野において、ICT を活用した新しいサービス・ビジネスの創出が期待されているものの、その実現に不可欠である共通な基盤(プラットフォーム)について、技術標準化、制度整備等が実施されていないために創出が妨げられているものがある。

こういった現状を受け、総務省は、ICT の活用による国民生活の利便性の向上、経済や地域の活性化、将来の成長のための基盤の実現に資する標準技術、制度等の確立を目的として「ICT 経済・地域活性化基盤確立事業(「ユビキタス特区」事業) を推進している。本プロジェクトは、総務省の取り組む意向に沿って、既存の2次元映像を3次元映像化できるパラメーターをインターネット上で配信する事業の実証を行うものです。

【本プロジェクトの背景】

最近、特に北米を中心に映画業界建て直しの救世主として立体映像が注目を浴びている。それを裏付ける様に立体映画観賞者の数は急激に増大しつつある。しかし、立体映画の制作はまだ高価であり、新たに撮影しなければならないことからコンテンツ供給に問題が残されている。

一方、家電メーカー、特にテレビメーカーは競合メーカーとの差別化手段として、2D→3D変換チップを搭載した機種を市場に売り出そうとしている。この種のテレビが販売されれば、既存の大部分の2D映像が3D映像で観賞できることになるが、品質面でまだ多くの問題点を

抱えている。

このような高品質ではあるがコンテンツのまだ少ない 3D 撮影による映像と低品質ではあるが大量に無差別に 2D→3D 変換される自動変換映像の二分化された立体映像が、顧客にどのように受け入れられていくのか注目される。そして、経済成長の一翼を担う映画産業や家電産業の成長の鍵を握るのが 3D コンテンツであり、高品質な 3D 作品を安価に豊富に供給出来るシステムの出現が待たれている。

【本プロジェクトの提案内容と意義】

本提案は、「インターネット課金システム」の一種であり、「既存 2D 映像から 3D 映像化できるパラメーターの販売」を目的としている。そしてこれは「映像の二次活用」「3D コンテンツ不足補充」「人材雇用の促進」の 3 つのキーワードをベースにしている。

この 3 つのキーワードは、今の時勢に個々独自ではその活路を見出すには困難さがともなう。互いに補える仕掛けがあれば、元の輝きを放つものと確信するものです。

本事業は、その仕掛けの一つとして「既存 2D 映像から 3D 映像化できるパラメーターの販売を行うインターネット課金システム」の構築を目指すものです。そして、3 つのキーワード、「映像の二次活用」「3D コンテンツ不足補充」「人材雇用の促進」の活性化に寄与できるとすれば、その意義は大きい。

【本プロジェクトの目標要約】

- ◇映像業界の活性 — 既存 2D 映像の 2 次活用を図る
- ◇雇用の促進 — 既存 2D 映像を、3D 映像に変換する為の制作人員の雇用
- ◇新たなビジネスモデルの創出 — インターネットを利用してパラメーターを配信することにより、手持ちの DVD 等を利用し簡単に 3D 映像を観賞できる。

本プロジェクトの実施計画

【本プロジェクトの実施計画1】

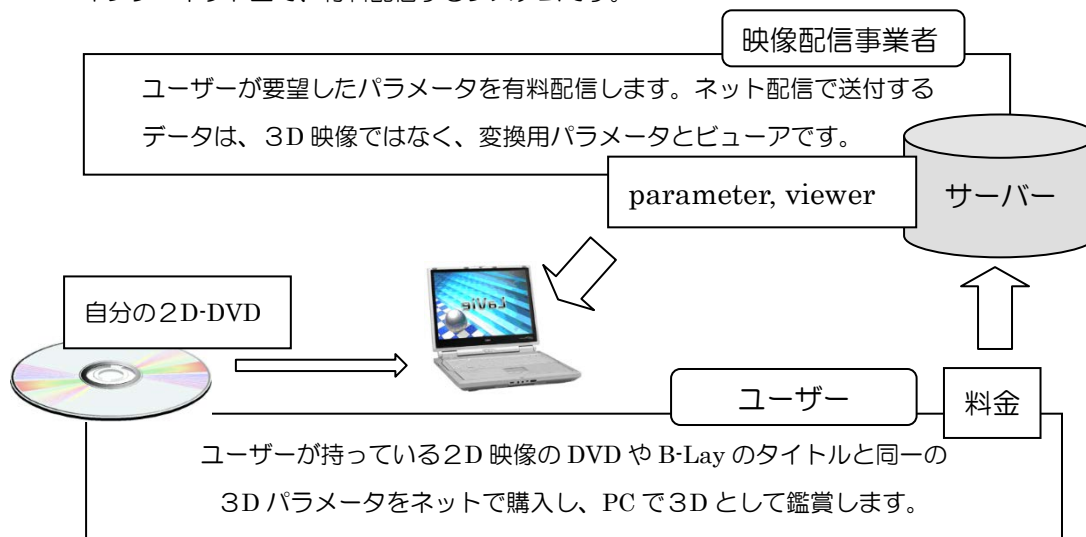
既存 2D 映像から 3D 映像化できるパラメーターの販売を行うインターネット課金システムの構築とパラメーターの制作の実務を行う。

【実施計画1の概要】

映像配信業者が、「既存 2D 映像から 3D 映像化できるパラメーターの販売を行う「インターネット課金システム」の構築、パラメータ制作の体制構築、及びパラメータ化する作品を以下とする。

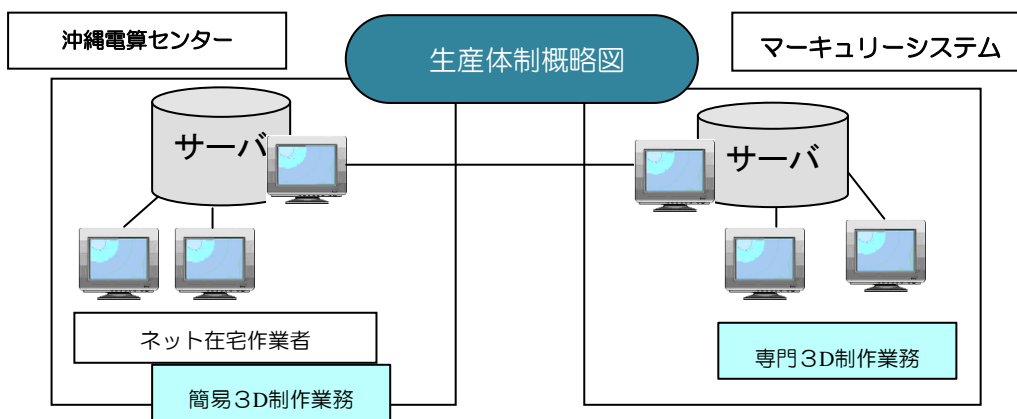
3D ネット配信ビジネスモデル概要図

配信業者が、既存の 2 次元映像を 3 次元映像化できるパラメーターをインターネット上で、有料配信するシステムです。



人材雇用—3D 映像化するパラメータの制作体制図

「既存 2D 映像から 3D 映像化にする制作コストの低減化を目的とし、作業を柏工場と沖縄（名護市）工場およびインターネットを使用して在宅者をネットで結び、分業化による制作体制を組織し、コスト低減化を目指す。



3D映像化するパラメータ制作作品

以下は、本事業で制作するDVD映像のサムネール。

バハ・カリフォルニア 1



バハ・カリフォルニア 2



バハ・カリフォルニア



バハ・カリフォルニア 4



バハ・カリフォルニア 5



小笠原 1



小笠原 2



小笠原 3



小笠原



小笠原 5



【本プロジェクトの実施計画 2】

本プロジェクトでは、日本国・総務省の「ICT 経済・地域活性化基盤確立」の意向に沿った以下の4つの検証と1つの検討の実施する。

4つの検証項目

- 検証①：課金システムの提案、それを実現するための課題、問題点を抽出する。
- 検証②：3D化できるパラメーターを用いて、ユーザーが手持ちDVDで、3D映像を観賞できるか否かについて、ビューアを技術面から検証を行う。
- 検証③：3D撮影映像に極力近づけた高品質を保持しながら、2D映像を3D映像に変換するためのコストを、分業化による低減化の検証を行う。
- 検証④：離れた制作拠点をネットで結び、拠点間における映像及びパラメーター伝送上の安全性を確認する。

1つの検討項目—検討委員会

検討①：検討委員会にてコンテンツの著作権、使用許諾料等を含むコンテンツの流通上の制度的課題を検討を行う。

■インターネットによる課金システムの可能性

コンテンツの著作権、使用許諾料等を含むコンテンツの流通上の制度的課題を検討。本事業で提案した「2D映像を3D映像に変換可能なパラメーターをインターネット上で配信する課金システム」の可能性については、5回からなる検討委員会で議論を重ねる。

■検討委員会構成員（敬称略）

座長	斎藤 伸久	(目白大学教授)
副座長	江良 一成	((株)マーキュリーシステム)
委員	白倉 伸一郎	(東映(株)東京撮影所)
委員	玉城 惇博	(日本ビデオネット)
委員	堀川 健二	((株)クリエイターズ・プラス)
委員	三谷 英弘	(TMI 総合法律事務所)
委員	志村 晶	((株)イマジカ)
委員	高橋 宏明	((株)イマジカ)
オブザーバー	石切山 真孝	(総務省情報流通振興課)
オブザーバー	小林 義雄	(柏市経済産業部)
事務局	波田 靖夫	

以上